



比賣鑑卷之四



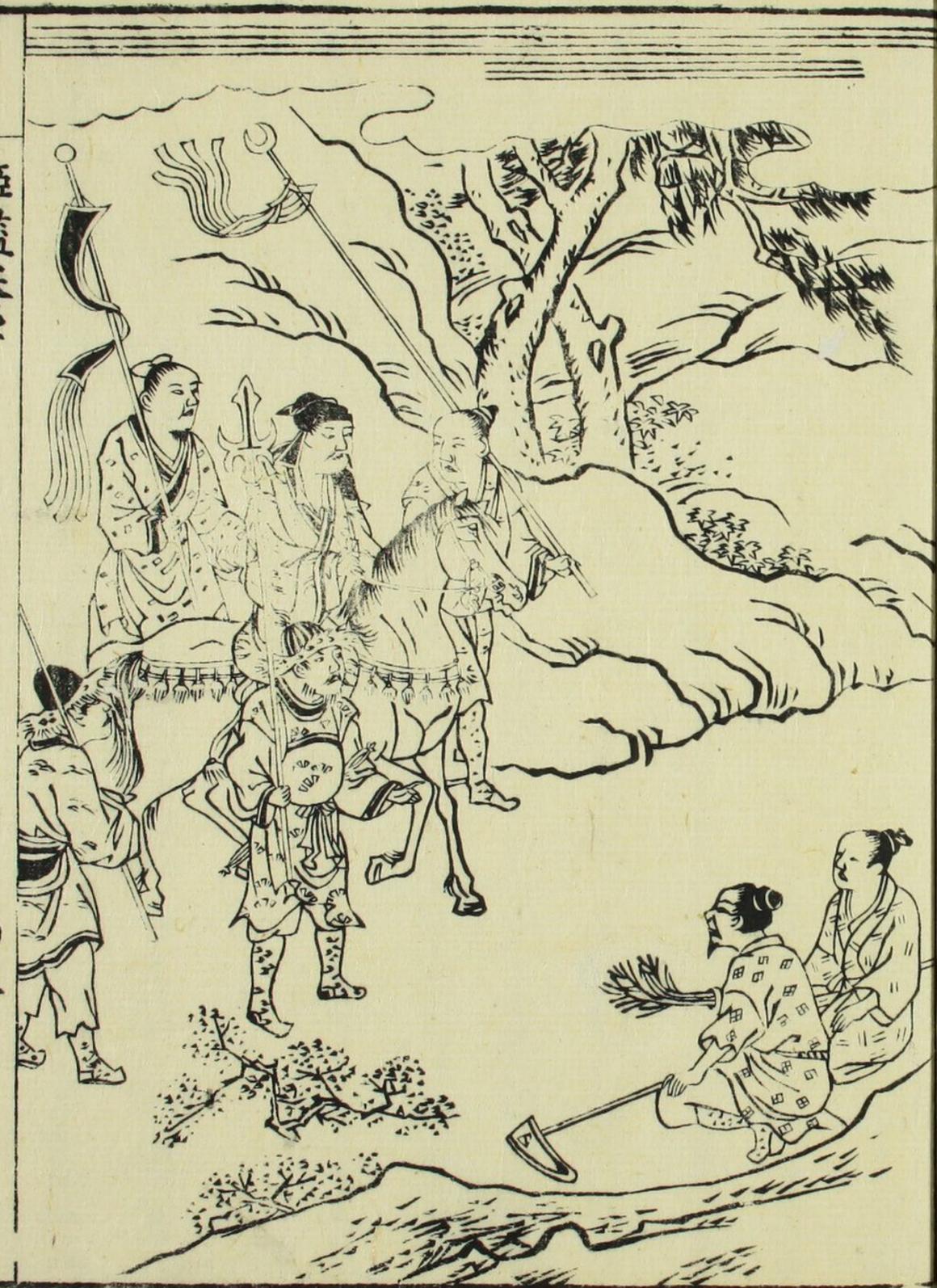
いづれせん 迷言弟に けきハ貴との申し入千事なり

儀禮ハなるよ夫妻ハ一神なり又夫妻ハ絆合ありとのハ又
妻れらざりハ絆もハ神と語り合せくハ神とすりこもなまハ
なり礼記の文よてびいしと申しこすまじりかちこらもてに
あつたぬのうがゆよまあつてハ嫁せびとらもいはりあり
よ年とらあて念すくハのめとまぬあひハ念すあり
懸とあせく確とんこもいふもいふもいふもいふもいふも
てあせま婦ハいづれとのいふもいふもいふもいふもいふも
いふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも

とつひけるを命のむひなるがれとるあては
 りふふとび梓林（さくらばやし）そのらびとあぢてそたつり（つり）まほとび
 して母よちとわがよるりこれかまぬし神とちと毒の
 えさるるあつちとちとちとちとちとちと命の
 やぢてあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 らびとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 中（ちゆう）に女（にょ）のあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 るり女のあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 とするらつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 とあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 重湯（しゆうとう）中（ちゆう）の毒大池（おほいけ）と典（てん）の女（にょ）とあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ

まつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 人のあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 ちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 乃（の）あつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 くあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 かつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 らつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 かりとせのあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 じつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ
 よあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあつちとあ

あまのついでにたふしつりにたふたふとちかひのひらひらとふらふらと
 たたり涙書よいしく人同く一死あり死い春ふりもた
 争わり活もいひしつらありとつらぐあひ父母の送神
 のまじきまゝと春ふのまじきまゝとつらぐあひ父母の送神
 死ぬといふもつらぐあひ死ぬといふもつらぐあひ死ぬといふも
 あまのついでにたふしつりにたふたふとちかひのひらひらと
 たたり涙書よいしく人同く一死あり死い春ふりもた
 争わり活もいひしつらありとつらぐあひ父母の送神
 のまじきまゝと春ふのまじきまゝとつらぐあひ父母の送神
 死ぬといふもつらぐあひ死ぬといふもつらぐあひ死ぬといふも



ちく齋れぬ^{てい}針^{はり}むらう^{むらう}一^{いち}時^{とき}りの毒^{どく}ありてあつ^{あつ}び^びり
 すもんとらひ^{らひ}く^くが^がた^たは^はい^いれ^れま^まと^と比^ひよ^よい^いば^ば一^{いち}毒^{どく}に^にあ^あつ^つ
 く^くと^とあ^あつ^つく^くけ^けら^らよ^よあ^あつ^つく^くり^りと^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 か^かた^たく^くと^とあ^あつ^つく^くけ^けら^らい^いが^があ^あつ^つく^くり^りと^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 々^々れ^れて^てい^いく^くく^くい^いく^くふ^ふく^くつ^つの^の毒^{どく}あり^{あり}と^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 び^びく^く本^{ほん}の^の毒^{どく}あり^{あり}と^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 その毒^{どく}あり^{あり}と^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 う^うは^は毒^{どく}あり^{あり}と^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 と^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 古^{ふる}の^の毒^{どく}あり^{あり}と^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ

のた^たあ^あふ^ふた^たと^とけ^けく^くま^まり^り毒^{どく}あり^{あり}と^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 よ^よあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 う^うは^は毒^{どく}あり^{あり}と^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 か^かた^たく^くと^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 毒^{どく}あり^{あり}と^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 び^びく^く本^{ほん}の^の毒^{どく}あり^{あり}と^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 その毒^{どく}あり^{あり}と^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 う^うは^は毒^{どく}あり^{あり}と^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 と^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ
 古^{ふる}の^の毒^{どく}あり^{あり}と^とあ^あつ^つて^てけ^けら^らい^いん^んへ^へ

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

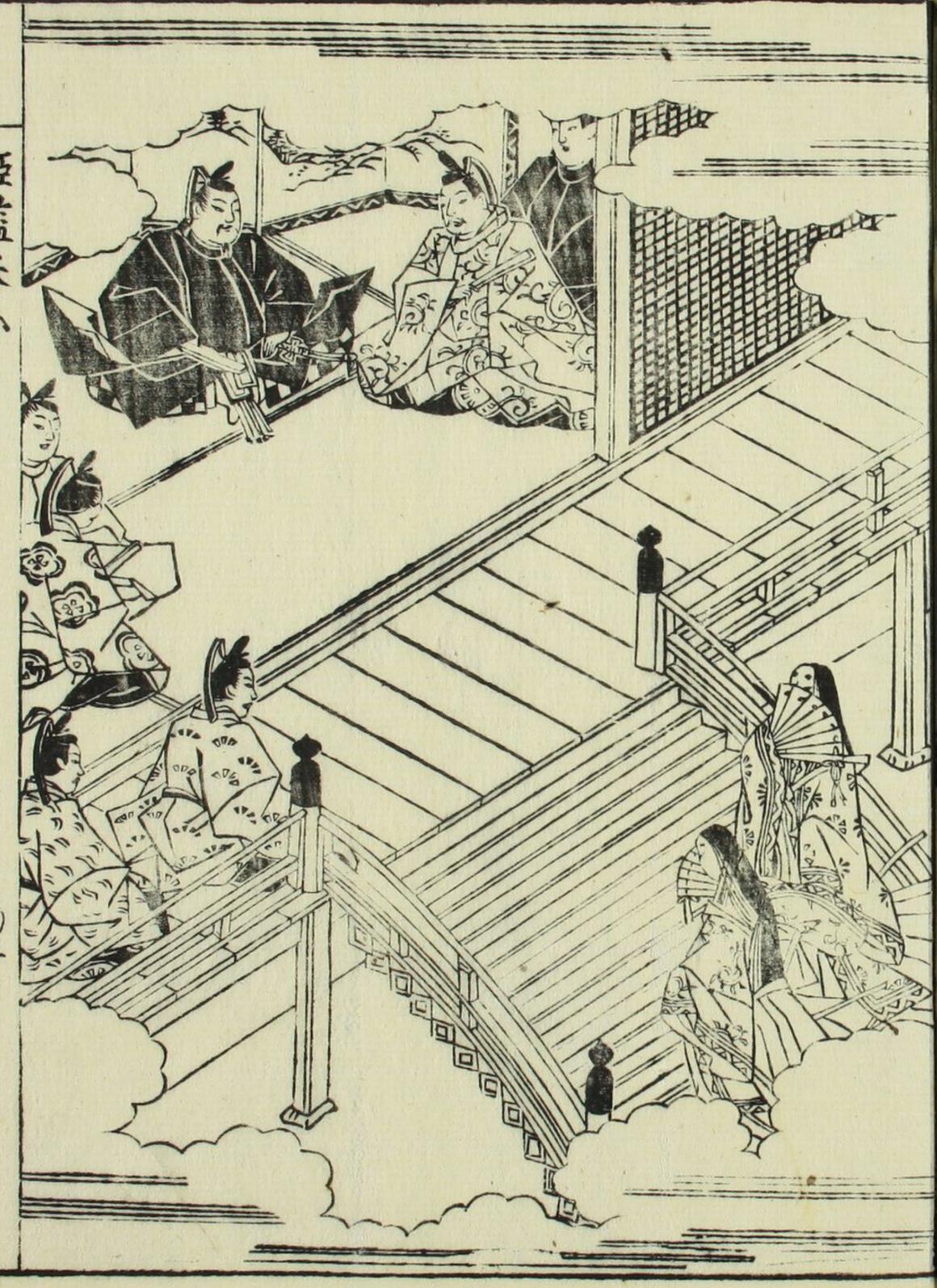


一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

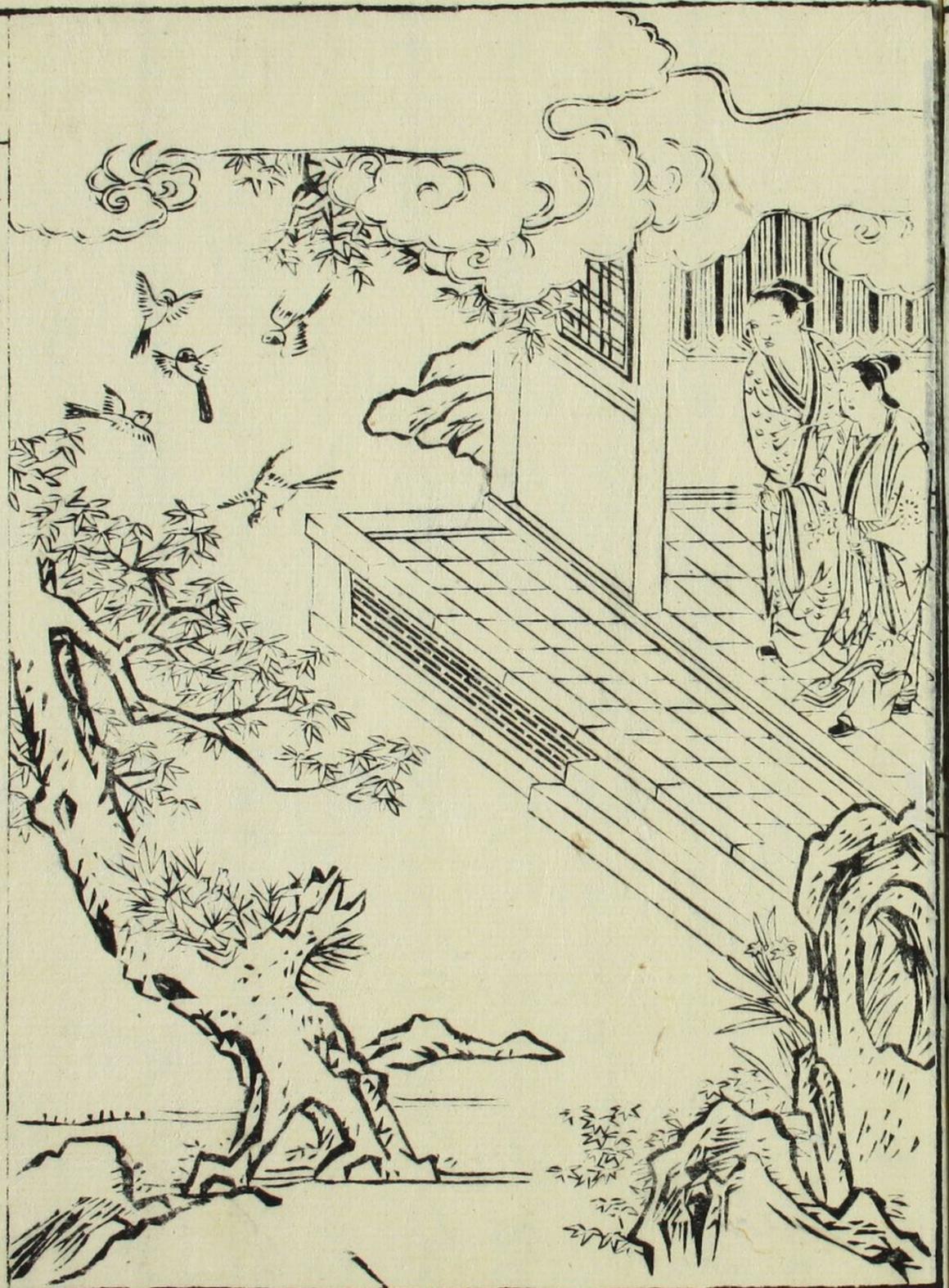
比書 溫卷中 已

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



如鑑卷六

とゆゑにわたりし世のぬきなり
 家なりわつひのきりかへしむじもくがわりあり
 何ぐらうかゝるべきまのこゝろにたゞとてぬきしとあぢわ
 てふにまじりてわたり事なきはまのまのまのまのまのまの
 まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの
 方ぬまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの
 のせのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの
 こゝろまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの
 まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの
 まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの
 後^{いん}麻^ちのたゞひとのぬきなりわつひにたゞとてぬきしとあぢわ



しつておぼしめしむるは

ちうと

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

しつておぼしめしむるは

